事業番号	07 04 13	事業改善シート(28年度実施事業分)	口予算	要求	口当初予算案	尽 □補正予算案 ■点検
事業名	NAGANO WINE醸造技術支援事業費				部局	産業労働部
尹 未 乜	NAGANO WIND 晚起汉州又坂尹未負			担当	課·局·室	ものづくり振興課 日本酒・ワイン振興室
纵入 上、左	プロジェクト	1-1-1 次世代産業創出		課	E-mail	jizake@pref.nagano.lg.jp
総合5か年 計画	施策の総合的展開	1-1 信州をけん引するものづくり産業の振興				
пп	旭東	1 成長産業の創出		5	実施期間	H26 ~
人口定着・	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出				
確かな暮ら し実現総 合戦略	施策展開	3-(1) 経済構造の転換				

1 事業の概要

信州ワインバレー構想に基づき、既存ワイナリー及びワイナリー設立を目指す農業者等の醸造技術向上を支援することにより、高品質な 目指す姿 NAGANO WINEの生産醸造体制を確保し、ワイン産地の形成促進を図る。

現状

平成25年度からワイン生産アカデミー事業が開始され、受講生が県内外から集まっている(H25:43名、H26:41名)。 (予算編成 ワイナリー設立を目標とする受講生の中には、既にワイン用ブドウの生産に取り組み、醸造技術の習得を希望する者もいる。 時) また、新設ワイナリーが平成26年度には2件、平成27年度には5件(H27.12時点)設立され、今後も増加する見込み。 また、新設ワイナリーが平成26年度には2件、平成27年度には5件(H27.12時点)設立され、今後も増加する見込み。

県が関与 する理由 県関与の必要性あり

【左記の説明、根拠法令等】

ワイン醸造に関する技術支援は、県が提唱した信州ワインバレー構想に基づくものであり、県の関 与は必要。

県民との協働による実施: 実施中

① 成果目標(H28)

- ・ワイナリーでの研修受入:5人 (受け入れ可能ワイナリー件数の例年の動向から)
- ・セミナー参加者数:100人 (前年度の参加者実績から)
- ・技術顧問による相談支援件数:40件 (前年度の相談実績から)
- ・試験醸造件数:15件(前年度の実績と試験対象品種の選定結果から)

成果目標: 事業内容

② 事業内容							
項目	実施方法	H28事業実績		H28		H29	
切り カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ	天旭刀伝			(当初)	(決算)	(当初)	
里親ワイナリー研修	補助	研修生をワイナリーで9月から1月末まで受造に関する知識・技術の習得を支援	どけ入れ、醸	831	108	725	
醸造技術向上セミナーの開催	直接	ワイナリー若手従事者や新規参入者に醸 導(5回)	76	185	_		
技術顧問によるアドバイス	直接	ワイナリーへの技術相談		1,763	1,059	945	
ぶどう仕込み試験の実施	直接	県果樹試験場で栽培したぶどうを仕込み、成分分析及 び官能評価		234	227	234	
			合計	2,904	1,579	1,904	

	12	<u>-</u>	分(単位:十円)	2/年度	28平度	29年度
	-	前年度繰越				
	予算		当初予算	2,994	2,904	1,904
事	額		補正予算			
業			合計(A)	2,994	2,904	1,904
^			一般財源	2,894	2,864	1,854
コ	Aσ,		県 債			
7	財源	京	国庫支出金			
ス		その他		100	40	50
۲	決	算 額(B)		1,407	1,579	
	概	算	職員数(人)	0.33	0.33	0.33
	人作	‡費	概算人件費 (C)	2,731	2,612	2,612
	概算	事	業費(B(A)+C)	4.138	4,191	4.516

成果目標の達成状況									
項目	H26末	H27末		H29					
79.71			目標	成果	達成状況	目標			
里親ワイナリー受入数	4	4	5	3	未達成	-			
セミナー参加者数	119	125	100	215	達成	-			
技術顧問支援件数	41	45	40	42	達成	-			
仕込み品種数	-	18	15	25	達成	_			

目標に対 する成果 の状況

技術向上研修はおおむね計画どおり実施。里親ワイナリー研修は、希望者と受け入れ側の条件を調整したが、日程が合わなかった。

2 今後の事業の方向性

□ 事業を実施しない ■ 事業を見直して実施 □ 事業を現行どおり実施 今後、事業 をどのよう にしていき 受講希望者の意向を十分に聞き取り、意欲の湧く研修開催に努め、効果的な技術向上支援につなげる。 たいか